

9月号

第217号 2017年9月1日
発行 / 医療生協さいたま

生協歯科

〒336-0926 さいたま市緑区東浦和 6-16-1
(外来予約受付) TEL: 048-810-6100
(2階事務室) TEL: 048-810-6101 Fax: 048-810-6103

Eメール sika-j@mcp-saitama.or.jp
ホームページ <http://seikyo-shika.com/>

健康まつり

25周年 医療生協さいたま
生協歯科

今年は、診療所開催9年振りの**健康まつり**を開催します!!

会議室を使った舞台発表では、組合員さんが頑張って取り組んだヘルスチャレンジの報告会や歯科職員によるパフォーマンス・ミニ学習会、支部サークルの披露会、ズーズー弁ラジオ体操などなど。他にも、支部バザー、模擬店、健康チェック、キッズコーナー、空クジなしの抽選会…と内容は盛りだくさん。

楽しく、美味しく、健康に♪

ぜひ、みなさまのご来場お待ちしております。



10月1日(日) 午前10時～午後2時

場所: **生協歯科(敷地内)**

くじ番号付き

参加協力券1枚200円 販売中



入れ歯のお手入れ

歯科技工士 森谷 聡



今回は《入れ歯のお手入れ》について今一度おさらいしたいと思います。

★ていねいに扱きましょう

お口に合うよう、薄く作られた、大変精巧で精緻なものです。

・落とさない ・熱湯に入れない ・勝手に加工しない ・乾燥させない

★清潔第一にしましょう

合成樹脂は汚れがつきやすい素材です。正しいブラッシング法の指導を受け、いつも綺麗に磨いてください。

専用ブラシと洗浄剤を使用し、強くこすったり、歯磨き剤でこすったりしないでください。



★就寝時のお手入れ

入れ歯は体の一部ですが、就寝時に入れたままが良いか外したほうが良いかはお口の状態によります。かかりつけの歯科医に相談し、指示に従いましょう。

外した入れ歯は、水または洗浄剤に一晩つけておきましょう。

★残った歯と歯肉(歯ぐき)のお手入れ

入れ歯を外して洗うときは、残っている自分の歯や歯肉もブラッシングしてください。残った歯を大切にすることが、快適な入れ歯の保持につながります。

歯肉のブラッシングは血行を促し、入れ歯を支える土手(顎堤)の健康を保ちます。

★定期検診で状態のチェック

お口の状態は日々変化します。いつもお口にぴったりの入れ歯をお使いいただくためには、調整が必要です。入れ歯を長く快適に使うために、年に一度は定期検診をお受けください。



**入れ歯は、大切な体の一部です。
清潔第一を忘れないようにしましょう!!**

診療時間

- 予約制です ● 歯科往診もおこなっております
- 矯正診療日・毎週木曜日の夜間、第2・第4土曜日

曜日	午前	午後	夜間
月・火・木・金	8:30~11:30	13:00~16:30	17:30~20:30
水曜日	8:30~11:30	第5のみ午後も診療(13:00~16:30)	
土曜日	8:30~11:30	13:00~16:30(第5は午前の診療のみ)	

急患の方へ *電話をまずお願いします。

空いている時間帯と患者さんのご都合で時間のご案内をさせていただきます。



周術期のお口のケア

歯科衛生士 江藤 倫子

2012年4月に診療報酬改定で**周術期口腔機能管理**が新設され、医科歯科連携がより強化されてきました。

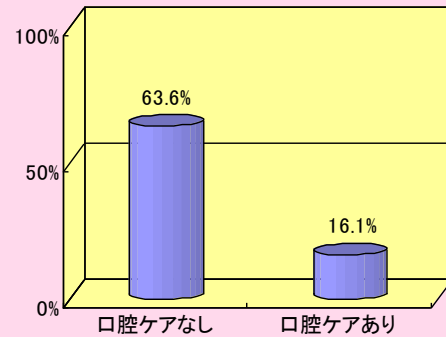
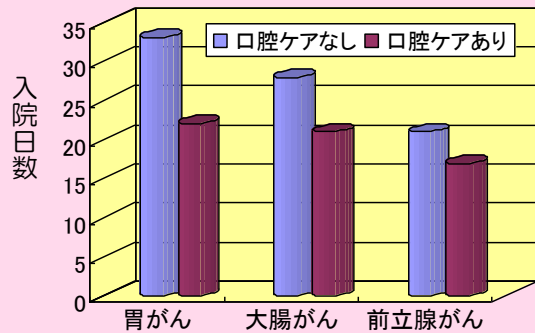
周術期とは、全身麻酔をして手術をする患者さんの術前・術中・術後（入院前～退院後）の治療期間のことで、入院する前から**お口のケア**をすることで、さまざまな期待できる効果が分かってきています。とくにがん治療による副作用を軽減することができます。



期待できる効果

- ★ 抗がん剤治療や放射線治療でのお口の中や顎の骨のトラブルが減少
- ★ 手術後の肺炎、感染リスクの減少
- ★ 入院期間の短縮

★ 手術後の合併症の減少



入院前からお口のケアをすることで、全身麻酔時の気管挿管（人工呼吸器の管が口などを介して気管に入る）で、歯が折れたり、抜け落ちたりを防止することにも繋がります。手術後の食事開始をスムーズにしたり、食事の際の苦痛を軽減し、お身体の回復を早めることができます。

生協歯科では、手術日に合わせて予約をお取りしたり口腔ケアをいたします。どうぞお気軽にご相談ください（お電話でもお受けしております）。

『虹の箱』から

＝ 生協歯科 事業所利用委員会 ＝

ご意見・ご感想ありがとうございました！！



組合員活動だより

『かかりつけ医』とは？

みむろ支部

7月14日（金）、みむろ支部組合員12名、浦和民主診療所（浦診）職員2名の総勢14名で学習会をおこないました。

講師の浦診看護師Iさんは、開口一番「みなさん、『かかりつけ医』についてどのようなイメージをお持ちですか？」と問いかけがあり、参加者のKさんが「私は月に一度浦診にかかり、決まった医師の診察を受けて薬をもらっています」と答えていました。一般的にはこのような認識で良いそうです。



最近、主治医機能を評価した保険点数ができました。高血圧症、糖尿病、脂質異常症、認知症のうち2つ以上の病気がある患者さんに対して、服薬、健康管理、介護保険の対応、在宅医療の提供、24時間対応などをおこなっている場合に算定でき、医院のほうにも点数加算があります。

患者にとってのメリットは**24時間電話対応**が受けられること。

浦診では現在、全患者の5%程度の登録状況で、まだまだ情報が不足しますが、患者さん一人一人の**患者サマリー**（基本情報、病歴、病名、投薬などの情報を要約した書類）を作成し、担当の医師が変わっても情報が共有されて患者が安心してかかる、真の意味での『かかりつけ医』を目指しています、とのことでした。健診 → 外来 → 在宅・往診 → 看取り…と同じ病院・医院でかかることができれば、患者も家族も安心ですね。

今後登録を勧められた場合は、国の政策や方針も変更が予測されるため、納得がいくまで説明を受けたほうが良いでしょう。

お話のあとの交流では、参加者から率直な疑問や要望が出されました。上手な医者のかかり方や、処方されている薬名をメモしておくなどのアドバイスもあり、とても勉強になりました。



ボランティア(真珠の会)活動日9月8日(金)9時30分～

集合：生協歯科 1階会議室

内容：草木のせん定、本棚整理 など

毎月第2金曜日午前中に活動しています。10月は13日(金) 予定です。

♪♪初めてのかた大歓迎♪♪ ぜひご協力をお願いします!!

